

令和2年度第1回理事会議事録

静岡県国民健康保険団体連合会

1 開催日時及び開催場所

令和2年7月10日（金）午前10時30分～午前11時47分

グランディエールブuketーカイ 4階「シンフォニー」

静岡市葵区紺屋町17-1

2 出席者の氏名

(1) 理事 12名

理事長	原田 英之（袋井市長）	
副理事長	太田 順一（菊川市長）	田村 典彦（吉田町長）
常務理事	萩原 綾子（学識経験者）	
理事	須藤 秀忠（富士宮市長）	中野 弘道（焼津市長）
	若林 洋平（御殿場市長）	小野 登志子（伊豆の国市長）
	太田 長八（東伊豆町長）	太田 康雄（森町長）
	永田 好一（静岡県建設産業国保組合理事長）	
	佐古 伊康（しずおか健康長寿財団理事長）	

(2) 監事 3名

会員	杉本 基久雄（牧之原市長）	仁科 喜世志（函南町長）
会員外	畔村 勇次（公認会計士）	

(3) 書面表決による出席者 1名

理事	染谷 絹代（島田市長）
----	-------------

3 理事会の議事の経過及びその結果

(1) 理事会の成立

理事総数13名のうち12名の本人出席及び1名の書面表決による出席があり、規約第30条に規定する定数に達したため、理事会は有効に開催された。

(2) 理事長挨拶

- ・コロナ禍により、今回の理事会は感染防止のため会場を広くとり開催としたが、通常総会については書面による開催に変更することもあるかと思う。状況を見て判断する。
- ・本日は令和元年度の事業報告・決算の議案、中期経営計画に係る評価委員会の報告等を予定している。

(3) 県健康福祉部部長代理挨拶

- ・国民健康保険及び介護保険等に係る円滑な事業運営に対する謝辞。

- ・国の第2次補正予算において、新型コロナウイルス感染症拡大防止・収束に向けた対策として、医療機関や薬局等に感染拡大防止対策等に係る補助事業が行われることとなった。
 - ・また、医療従事者と介護事業所等職員に慰労金の給付事業も同時に行われることとなった。
 - ・これらの事業は緊急を要する事業のため、国（厚生労働省）
- 、国保中央会より全国共通の事業実施方法として県と国保連合会が協力して事業を実施するよう調整がなされたものである。
- ・新たな業務により、負担がかかるかと思うが、県と国保連合会が連携しながらコロナ対策をともに担うことが重要であると考えているため、御協力をお願いしたい。

県健康局長挨拶

- ・国民健康保険及び介護保険等に係る円滑な事業運営に対する謝辞。
- ・慰労金、支援金に係る分量が多く、国保連合会とは打ち合わせ等、密に連携しているところである。今後も引き続き御協力をお願いしたい。

(4) 議長選出及び議事録署名人選任

規約第28条の規定に基づき、原田理事長が議長となって議事を開始した。また、規約第31条の規定により、理事2名が議事録署名人に選任された。

(5) 議案及びその審議状況

①議案

ア 報告事項

(ア) 専決処分事項

- ・報告第1号-1 令和2年度静岡県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計歳入歳出補正予算（国民健康保険診療報酬支払勘定第1次）について
- ・報告第1号-2 令和2年度静岡県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計歳入歳出補正予算（後期高齢者医療診療報酬支払勘定第1次）について

イ 議決事項

- ・議案第1号-1 令和元年度静岡県国民健康保険団体連合会事業報告について
- ・議案第1号-2 令和元年度静岡県国民健康保険団体連合会一般会計ほか7特別会計歳入歳出決算及び財産管理状況について

- ・議案第1号-3 令和2年度静岡県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計歳入歳出補正予算（公費負担医療に関する診療報酬支払勘定第1次）について
- ・議案第2号 令和2年度静岡県国民健康保険団体連合会第1回通常総会の招集について

②審議状況

<専決処分事項>

- 報告第1号-1： ○別添議案書の報告第1号-1及び第1号-2により、
報告第1号-2 事務局から報告説明があった。

(理事)

- ・概算前払いにおける金融機関からの借り入れについて、減少となった差額分に25%をプラスした額を借り入れとする根拠は何か。

(事務局)

- ・国の要綱によるもの。

<議決事項>

- 議案第1号： ○別添議案書の議案第1号-1から第1号-2により、事務局から提案説明があった。
(第1号-1から第1号-2まで) ○監事から監査報告、外部監査人から会計監査報告があった。

(理事)

- ・患者の受診控えは、連合会における財源の減収の問題だけでなく自治体における公立病院等診療報酬の減収も大きな問題である。
- ・密になることを促してはいけませんが、病気のある方が受診を控えることなくしっかりと医療を受けるよう促すなど、連合会として何ができるか考えていかなければならない。

(理事)

- ・患者の受診控えにより、市民の健康にどのような影響を与えているか、フォローアップ調査が必要ではないかと感じている。

(理事)

- ・事業報告に保険者努力支援のことや保険者インセンティブの強化のことが記載されているが、これまでどのような支援を行い、今後どのようにしていく予定か教えていただきたい。

(事務局)

- ・特定健診事業については受診率向上に向けたテレビCM（民放4局）等を使った広報、ポスター掲示、動画配信等を行い、併せて特定健診の受診促進キャンペーンとして、イオン等と連携してイベント実施時に啓発グッズの配布を行っている。
- ・また、保険料税の納付広報事業では同じく動画配信、ポスター掲示を行い、第三者行為求償事務、保険料税収納事務については、県と共催で各種研修会も行っている。

(理事)

- ・国民に広く周知し持続的に浸透させるためには、長いスパンで行われるような大きなことが必要とされるのではないかと感じている。

(事務局)

- ・県や市町と相談しながら検討していきたいと思う。

(理事)

- ・コロナ陽性患者の受け入れ機関では、専用病棟を設けたことにより受けられる診療報酬が減り、一般病棟では受診控えによる患者数減（収入減）により赤字となっている。
- ・コロナの影響で診療報酬が減っている市としては、地元の国会議員を通して厚生労働省に対し、赤字を補填して欲しいと要望している。
- ・診療報酬と連動した国保の審査支払手数料の減収も重大な問題なので、国の第三次補正で埋めてもらいたいと思っている。
- ・連合会としても中央会もしくは国会議員をとおした働きかけをお願いしたい。

○その後採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

議案第1号：
(第1号-3)

○別添議案書の議案第1号-3により、事務局から提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

議案第2号：

○別添議案書の議案第2号により、事務局から提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

(6) 議案審議終了後、次の事項について報告があった。

- ・第2期中期経営計画実施状況の報告について（説明者：監事）

第2期中期経営計画実施状況について、監事から、「概ね、計画どおり実施できている」と評価報告があった。

4 議長の氏名

原田 英之（理事長）

この議事録が正確であることを証するため、記名押印する。

令和2年7月10日

議 長

静岡県国民健康保険団体連合会 理事長

袋井市長

印

議事録署名人

焼津市長

印

御殿場市長

印